

地下水バイパス揚水井の汲み上げにおける一時貯留タンク に対する評価結果について

〈参考資料〉
2026年1月30日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【各揚水井のトリチウム濃度(Bq/L)】

	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12
2026.1.15(木) (①)	11	32	60	82	5	10	16	38	47	160	170	110
2026.1.19(月) (②)	11	32	60	82	5	11	16	38	47	150	170	110
トリチウム上昇傾向評価用 (③)※1	11	32	60	82	5	11	16	38	47	950	170	110

No. 10以外については隔回でサンプリングを実施しており、サンプリングの無い回は至近の分析結果に基づいて評価している。

※1「トリチウム上昇傾向評価用」とは、No. 10において、2015年の11/12から11/16までの上昇傾向が継続したことを仮定し、トリチウム濃度を評価したもの。

【各揚水井の汲み上げ比率】

	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	計
汲み上げ比率 (④) ※2	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0299	0.1375	0.1691	0.2831	0.2688	0.0139	0.0000	0.0977	1.0000

※2 No. 1～12: 至近採水時の汲み上げ実績をもとに算出している。

【評価結果(一時貯留タンクのトリチウム濃度(Bq/L))】

	各揚水井の評価値												一時貯留タンク内 トリチウム濃度
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	
2026.1.15(木) (①×④)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.3	2.7	10.8	12.6	2.2	0.0	10.7	40.5
2026.1.19(月) (②×④)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.5	2.7	10.8	12.6	2.1	0.0	10.7	40.6
トリチウム上昇傾向評価用 (③×④)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.5	2.7	10.8	12.6	13.2	0.0	10.7	51.6

端数により、一時貯留タンク内トリチウム濃度と各揚水井の総和が一致しない場合がある。